

年表をつくる

四国社会資本アーカイブスの開示第一弾では、直轄の河川・道路ごとに主要年表を提供しています。主要年表は、事業主体の工事誌・事業誌・事業概要・事業評価監視委員会資料などをもとに作成しており、四国の社会資本整備に関する貴重な記録を保存、継承するという四国社会資本アーカイブスの目的に沿って、資料に書かれていることをできるだけ尊重して、一般的事項と当該事業に関する事項に区分して簡潔に記載しています。

一般的事項には、河川・道路に関する主な制度や計画、四国に関する主な計画などを記載し、当該事業に関する事項には平成の大合併以前の旧市町村ごとに河川・道路に関する主要な事業内容（事業化、工事着手、竣工、供用など）、事業実施の背景となった災害などを記載しています。また、当該事業に関する事項では、事業内容などの後に（ ）書きで代表的な出典と頁数を明記しており、年表下の資料一覧に記載されている資料で利用者が内容を確認することができるように配慮しています。さらに、年表の右端には、当該事業に関する事項のうち、資料に一定量の情報（200字程度の情報）が掲載されている事業名を緑色で表示し、そこをクリックすることにより、事業の概要や情報源、位置情報、構造物・石碑の写真などを知ることができるようになっています。なお、当該年度の記録がない場合には、たとえ前後の年度の資料から当該年度の記録が推定されるとしても、記録の推定は行わないようにしています。

年表作成には手間がかかります。資料によって作り方が異なりますので、資料に書かれていることをそのまま記載すると、年表が不連続になりますので、複数の資料で確認して整理しています。また、工事箇所の確認に時間がかかりますし、同じ資料内でも記載箇所によって工事期間が異なる場合もあり、確認に手間がかかります。しかし、手間がかかる年表作業を行うことにより、地名も分かり、年度ごとの工事の進み具合も分かります。さらに広域的に眺めたときに、河川整備や道路整備の順番も分かってきます。そうすると、当時事業主体の関係者がどのような考えで河川整備や道路整備を進めていたのか、何を目指していたのかなどを想像することもできます。年表作成の作業は、事業の概要をまとめたり、国道ルート変遷図を作成するのに役立っていますし、今後提供する予定の物語の作成にも活かすことができると考えています。

なお、行政の担当者や研究者などもっと詳細な情報を知りたい利用者のために、河川と道路については網羅的な詳細年表を公開しています。アーカイブスのメイン画面最下段の「詳細年表」をクリックすると情報を得ることができますので、あわせてご活用ください。

四国社会資本アーカイブスの主要年表の例（香川県の国道11号の一部）

年度	一般的事項	市町村	当該事業に関する事項	事業
大正8年 (1919)	4月、道路法公布			
大正8年 (1919)	12月、道路構造令・街路構造令制定			
昭和9年 (1934)			5月、内務省神戸土木出張所香川国道改良事務所を高松に開設（香川工事事務所50年のあゆみ6頁）	
昭和9年 (1934)		高松市	6月、高松～屋島間観光道路建設起工式（香川工事事務所50年のあゆみ6頁）	観光道路 (国道11号)

ここをクリックすると、事業の概要などが表示されます。